２０２５年４月入学

大学院情報学研究科（修士課程）

Graduate School of Informatics （Master's Program）

推薦入試

学生募集要項

Application Guidelines

出願期間	2024 年５月 27 日（月）～30 日（木）
試　験　日	2024 年７月８日（月）
合格者発表	2024 年７月 31 日（水）

群　馬　大　学

Gunma University

【群馬大学志願者の入学検定料免除について】
　群馬大学では，東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者の進学の機会を支援する観点から，特別措置として検定料の全額を免除します。
　免除の対象となる災害及び被災地域など，免除に関する詳細については，本学のホームページをご覧ください。

〈インターネット出願について〉
群馬大学では,志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため,紙の募集要項ではなく,インターネット出願を導入しております。
インターネット出願の導入により，学生募集要項の取り寄せが不要となり，出願期間中は 24 時間いつでも出願登録ができます。

目　　次

○　群馬大学大学院の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・1
○　情報学研究科修士課程各プログラムの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）・・・1
　１．募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　２．入学の時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　３．出願資格及び出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　４．出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　５．出願書類等の提出先及び提出方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　６．受験票等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　７．障害等のある入学志願者との事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　８．選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　９．試験日程及び試験会場等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　10．合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　11．入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　12．入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予・・・・・・・・・・・・・・・・8
　13．奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　14．教育方法の特例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　15．入学志願者等の個人情報保護について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　16．長期履修学生制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　17．早期修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
○　群馬大学大学院　検定料払込方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
○　試験場までの交通案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
○　群馬大学大学院情報学研究科修士課程について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
○　出願書類等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・末尾

【問合せ先】
群馬大学情報学部　教務係（情報学研究科担当）
〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町 4-2
TEL　027-220-7412
FAX　027-220-7405
E-mail:inf-kyomu@ml.gunma-u.ac.jp

群馬大学大学院の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

～このような人を求めています～

各研究科・学府・学環が課程又は専攻ごとに求める学力・能力を持ち，研究や実践によって，人類社会の発展に貢献する意欲のある人を受け入れます。

情報学研究科修士課程各プログラムの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜人材育成の目標＞

【情報科学プログラム】

情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて研究開発の一翼を担える能力を涵養するとともに，情報技術と密接に関係する社会の諸相について理解を深め，これらを通じて急激に変化する社会に対応して専門知識に基づく問題解決を図り未来社会の創造を担う高度専門職業人の育成

【社会情報学プログラム】

人文科学・社会科学・情報科学の知識に基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して，行政，企業，ＮＰＯなどの各種組織における意思決定に具体的・実践的に関与できる高度専門職業人の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

【情報科学プログラム】

1　情報科学・データサイエンス分野の基礎について学部卒業程度の理解と基礎的なコミュニケーション能力を持つ人
2　情報科学・データサイエンス分野について強い探求心と主体的に自己研鑽する意欲を持っている人
3　情報科学・データサイエンス分野の新しい課題や科学技術の開拓に積極的・情熱的に取り組む意欲がある人
4　論理的で柔軟な思考能力と的確な判断能力を持っている人

【社会情報学プログラム】

1　社会情報学分野の基礎について学部卒業程度の理解と基礎的なコミュニケーション能力を持つ人
2　社会情報学分野について強い探求心と主体的に自己研鑽する意欲を持っている人
3　現代社会に氾濫する多種多様な情報を的確かつ選択的に把握し，それを主体的判断に基づいて加工し，新たな情報発信により情報社会に積極的に関わる意欲のある人
4　論理的で柔軟な思考能力と的確な判断能力を持っている人

＜入学者選抜の基本方針＞

上記の情報科学プログラム及び社会情報学プログラムの入学者に求める能力・資質１～４を持つ学生を選抜するために，以下の入試を実施します。それぞれの方法で見る能力・資質を番号で付記します。それらの結果を総合して合否を判断します。また，学修機会の拡大のため，10 月入学の制度を設けています。

【情報科学プログラム】

○一般入試，留学生入試

学力検査（基礎科目及び専門科目）［能力・資質 1］

書類審査及び面接［能力・資質 1～4］

※書類審査では TOEFL 等の英語外部試験の成績の提出を求めます。

○推薦入試，社会人入試

書類審査及び口頭試問を含む面接［能力・資質 1～4］

【社会情報学プログラム】

書類審査及び口頭試問を含む面接［能力・資質 1～4］

１．募集人員

プログラム名	募集人員
情報科学プログラム	概ね 60 名
社会情報学プログラム	

上記の募集人員は，推薦入試，夏期入試，冬期入試及び 2025 年 10 月入学入試の合格者数の合計です。

２．入学の時期

2025 年４月１日

３．出願資格及び出願要件

出願できる者は，日本の大学に在籍し，それぞれの分野の専門教育を受け，学業成績が優秀で，出身校の長が責任をもって推薦する者で，かつ合格した場合は入学することを確約できる者で，次の各項のいずれかに該当するものとします。

⑴　大学を2025年３月卒業見込みの者

⑵　高等専門学校の専攻科を2025年３月修了見込みの者で，学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により2025年３月末までに学士の学位を取得見込みの者

４．出願手続

⑴　出願の流れ

出願前	**【重要】希望指導教員と必ず連絡を取り，入学後の研究計画及び出願するプログラムについて確認する。**
Step1	**群馬大学大学院情報学研究科ホームページから出願サイトにアクセス** 群馬大学情報学研究科　入試 https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/　から，入試情報へアクセス
Step2	**志願者情報等を登録（インターネット出願）**
Step3	**入学検定料の支払い（検定料免除申請者を除く。）**
Step4	**群馬大学大学院情報学研究科ホームページから，提出する様式をダウンロード。 様式に記入（入力）し印刷。内容を確認。**
Step5	**出願書類等を郵送（2024 年5月 30 日（木）17 時まで【必着】）**

※１　メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがありますので，ドメイン（@gunma-u.ac.jp 及び@ml.gunma-u.ac.jp）を受信設定してください。

※２　障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は，目次下部の「問合せ先」へ相談してください。

(2)　出願期間及び入学検定料納入期間

事　　項	受　付　期　間
インターネット入力及び 入学検定料の支払い	2024年５月16日（木）８時30分から 2024年５月30日（木）17時まで
提出が必要な出願書類等の郵送	2024年５月27日（月）８時30分から 2024年５月30日（木）17時まで（必着）

［注意事項］

出願書類の郵送は，必ず「**簡易書留速達郵便**」とし，受付期間内に届くように提出してください。
受付期間を過ぎた場合は受理しないので，郵便事情・郵送期間を十分考慮して早めに発送してください。
なお，出願書類の持参は認めません。

(3)　入学検定料支払の方法について

検定料　30，000 円

10 頁「群馬大学大学院検定料払込方法」を参照の上，次のどちらかの方法により支払ってください。

なお，支払手数料は支払人の負担となりますので，留意してください。

- **コンビニエンスストアでの支払い**

  支払後，レジにて受け取った「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り，「検定料収納証明書貼付台紙」（様式３）の所定の欄に貼り付けてください。

- **クレジットカードでの支払い**

  支払後，「入学検定料・選考料　取扱明細書」を印刷し，「収納証明書」部分を切り取り，「検定料収納証明書貼付台紙」（様式３）の所定の欄に貼り付けてください。

(4)　入学検定料の返還について

既納の検定料は原則として返還しません。ただし，検定料を振り込み後，出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合，あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は所定の手続により返還します。返還される金額は，振込手数料を差し引いた額となります。

返還に当たっては便せん等を用い，次のア～エを明記した「情報学研究科入学試験　検定料返還申出書」を作成して群馬大学財務部経理課へ速やかに郵送してください。

ア　返還申出の理由
イ　氏名（フリガナ）
ウ　郵便番号，現住所
エ　連絡先電話番号

「検定料返還申出書送付先」及び「問合せ先」

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町4-2
群馬大学財務部経理課収入係　電話：027-220-7062

(5)　検定料の免除について

東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については，特別措置として検定料の全額を免除します。

１．東日本大震災に係る特別措置

(1)　東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で，以下のいずれかに該当する者

①　学資負担者が所有する自宅家屋が全焼，大規模半壊，半壊又は流失した者

② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2) 学資担当者の居住地が，福島第一原子力発電所で発生した事故により，警戒区域，計画的避難区域，帰還困難区域，居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者

２．風水害等の災害に係る特別措置

(1) 出願期間の日から前１年以内に発生した風水害等の災害において，災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で，以下のいずれかに該当する者

① 学資負担者が所有する自宅家屋が全焼，大規模半壊，半壊又は流失した者

② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については，本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）をご確認ください。

上記に該当される方は，「検定料免除申請書」を本学ホームページからダウンロードし，関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は，平日８時 30 分から 17 時 15 分の間に学務部学生受入課（電話：027-220-7149）まで連絡してください。

(6) 出願書類等

入学志願者は，出願書類等一覧表に記載の書類を所定の期日までに本学へ提出してください。

出願書類等に不足がある場合，出願を受け付けることができませんので，注意してください。

なお，出願に必要な様式は，本学情報学研究科ホームページ(https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/)の入試サイトからダウンロードしてください。

(出願書類一覧表)

	出願書類等	提出該当者	摘　　要
1	自動送信メール	出願者全員	インターネット出願ページの出願登録完了後の返信メールを印刷してください。
2	写真票（様式１）	出願者全員	様式１を用いて，「氏名」・「志望するプログラム名」を記入してください。 なお，以下の点に留意して提出ください。 【写真】は，上半身脱帽正面向きで出願前３ヶ月以内に単身で撮影した写真１枚（縦4cm×3cm）を写真貼付欄に貼り付けてください。
3	卒業(修了)見込証明書	出願者全員	出身校の長等が作成したもの (原本であること。コピーは不可) 本学情報学部卒業見込みの者は，卒業見込証明書の提出は不要です。
4	成績証明書	出願者全員	出身校の長等が作成したもの (原本であること。コピーは不可) 本学情報学部卒業見込みの者は，成績証明書の提出は不要です。
5	学位授与申請予定証明書	出願資格(2)により出願する者	在籍学校長発行のもの (原本であること。コピーは不可)
6	推薦書（様式２）	出願者全員	出身校若しくは本学の学部等の長が作成し，厳封されたもの。 本学情報学部卒業見込みの者は，推薦書の提出は不要です。
7	検定料収納証明書貼付台紙（様式３）	出願者全員	様式３に「検定料収納証明書」を貼り付けて提出してください。
8	志望理由書（様式４）	出願者全員	様式４に記載して，提出してください。

【注意事項】

(1)　出願書類受理後は，出願書類記載事項の変更は認めません。
　　また，出願書類及び検定料の返還はしません。

(2)　出願書類に虚偽の記載をした者は，入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(3)　各証明書の姓が旧姓となっている場合は，現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

５．出願書類等の提出先及び提出方法

(1) 提出封筒の準備

封筒及び必要書類を用意し，提出してください。

①　必ず，角形２号封筒（横 24 ㎝×縦 33.2 ㎝で A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

②　６頁の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し，①の封筒の表(宛名)面に貼付してください。

(2) 提出が必要な出願書類等の封入

４頁の「(6)　出願書類等」を確認し，必要な書類等を封入してください。

(3) 簡易書留速達便で送付

３頁の「(2) 出願期間及び入学検定料納入期間」一覧表の「提出が必要な出願書類等の郵送」に記載の**受付期間内に必ず到着するよう，簡易書留速達郵便で発送してください。**

６．受験票等について

インターネット出願により登録した内容と，本学に届いた出願書類の内容が確認され，出願が受理されると，2024年６月24日（月）までにメールにて受験票等（PDF）を送付します。その内の「受験票」を白色のA4用紙で印刷し，当日必ず持参してください。本学からの受験票の郵送はありません。

※「受験票」を印刷したら，受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。万一記載に誤りがある場合や，2024年６月24日（月）を過ぎてもメールが届かない場合には，目次下部の「問合せ先」に照会してください。

切　手

貼　付

速　　達

3 7 1 − 8 5 1 0

群馬県前橋市荒牧町 4−2
群馬大学情報学部教務係（情報学研究科担当）
御中

簡　易　書　留

二　折　厳　禁

引 受 番 号

情報学研究科　　推薦入試出願書類在中

差出人	志望するプログラム（〇で囲む）	情報科学プログラム　・　社会情報学プログラム
	住　　所	〒
	フリガナ 氏　　名	
	連 絡 先 （自宅電話）	

７．障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等があって，受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

2024 年５月 17 日（金）までとしますが，なるべく早い時期に相談してください。

時期を過ぎてからの相談は，対応できない場合がありますので，ご留意ください。

(2) 相談の方法

相談書（様式は任意）に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談を行います。

(3) 連絡先については，目次下部の「問合せ先」を参照してください。

８．選抜方法

入学者の選抜は，書類審査及び口頭試問を含む面接の結果を総合して合否を判断します。

面接に当たっては、 事前に本研究科が別で定める研究計画書の提出を求める場合があります。

９．試験日程及び試験会場等

(1) 試験日

2024 年７月８日（月）

(2) 試験会場

群馬大学情報学部（群馬県前橋市荒牧町４－２）※11頁「試験場までの交通案内」を参照。

集合場所等の詳細は，受験票（PDF）送付時に**メールにて通知します。**

(3) 試験時間

面接時刻等の詳細は，受験票（PDF）送付時に**メールにて通知します。**

(4) 受験上の注意事項

① 面接について，指定された時刻に特段の事情なく遅刻した場合は，面接を辞退したものとみなし失格とします

② 試験の実施に関しての不測の事態（災害・事故等）が生じた場合は，情報学研究科ホームページ（https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/）に掲載しますので，ご確認ください。

なお，追試験は原則実施しません。

10. 合格者発表

2024 年７月 31 日（水）付けで，合格者本人に合格通知書を郵送（発表当日の発送）します。併せて，合格者の受験番号を情報学研究科ホームページ（https://www.inf.gunma-u.ac.jp/graduate/）に，同日の 13 時以降から 2024 年８月７日（水）16 時まで掲載します。大学構内での掲示等は行いません。

なお，電話による合否確認には一切応じません。

11. 入学手続

入学手続日等については，別途通知します。

なお，事情により入学を辞退する場合は，速やかに目次下部の「問合せ先」に文書で届け出てください（様式自由）。

(1) 入学手続に必要な経費等
① 入学料 282,000 円
（注）ア 入学時に入学料の改定が行われた場合は，改定金額を適用します。
イ 入学料の納入方法等は，別途連絡します。
ウ 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。
② 入学手続案内で指示するもの
(2) 入学後に必要な経費
授業料 前期分 267,900 円 年額 535,800 円
（注）ア 授業料に，入学時及び在学中改定が行われた場合は，改定金額を適用します。
イ 授業料の納入方法等は，別途連絡します。
ウ 授業料の納入については，希望により入学料の納入の際に，前期分又は前期分･後期分を合わせて納入することができます。
エ 授業料を納入した入学手続完了者が，2025 年３月 31 日(月）までに入学を辞退した場合は，納入した者の申し出により，所定の手続の上，納入した授業料相当額を返還します。

(3) 入学手続
入学手続日等については，別途通知します。
（注）各期日までに入学手続が完了しない場合は，入学辞退者として扱います。

12. 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して，入学料又は授業料を免除する制度があります。

また，所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して，入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

申請を希望する者は，本学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）の「入試情報＞学費・奨学金＞入学料免除・授業料免除支援に関するご案内」をご覧ください。

（問合せ先） 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して，入学料又は授業料を免除する制度があります。申請を希望する者は，本学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）の「入試情報＞学費・奨学金＞入学料免除・授業料免除支援に関するご案内」をご覧ください。

（問合せ先） 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して，本研究科からの推薦に基づき，授業料の免除をする制度があります。

（問合せ先） 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

13. 奨学金

学業・人物ともに優秀であって，経済的に授業料等の支弁が困難な学生に対し，修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与制度があります。

申請を希望する者は，本学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）の「入試情報＞学費・奨学金＞奨学金のご案内」をご覧ください。

なお，日本学生支援機構の大学院奨学金には，在学採用（入学後に奨学金を申込む制度）及び予約採用（入学前に奨学金を予約申込みする制度）があります。

（問合せ先） 学務部学生支援課学生生活係 電話：027-220-7142

14. 教育方法の特例

本研究科では，大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例に基づく，昼夜開講制による教育を実施します。

なお，昼夜開講制の教育は，夜間及び土曜日，日曜日，祝日並びに夏季等休業期間に行います。

15. 入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では，提出された出願データ及び出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について，「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規程」等に基づいて取扱い，次の目的以外には利用しません。

○　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）

○　入学手続完了者にあっては，入学者データとして入学後の就学指導業務，学生支援業務及び授業料徴収業務

○　大学運営上の目的で行われる調査･研究に関する業務（入試の改善や志願動向の調査･分析，各種統計資料作成業務を含む。）

なお，当該個人情報を利用した調査･研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

また，本学の上記業務にあたり，一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，外部の事業者に委託することがあります。

16. 長期履修学生制度

職業を有している，家事・育児・介護等に従事するなどの事情で，学修及び研究指導を受ける時間に制約を受けるため，標準修業年限（本研究科は２年）を超えて在学しなければ課程を修了することが困難な者に対して，本人の申請に基づいて審査し，標準修業年限を超える長期履修をあらかじめ認めることにより，計画的な課程の修了と学位の取得を可能にする制度です。

詳細については，目次下部の「問合せ先」に連絡してください。

17. 早期修了

１年以上の在学期間で修了要件を満たし，且つ，特に優れた業績を上げた者については，早期修了することが可能です。

群馬大学大学院 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学ＨＰからもアクセスできます！

https://e-shiharai.net/

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

セブン-イレブン

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

ローソン・ミニストップ

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

ファミリーマート

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポート へ

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券 」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

クレジットカードでお支払い

VISA / mastercard / AMERICAN EXPRESS / JCB

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

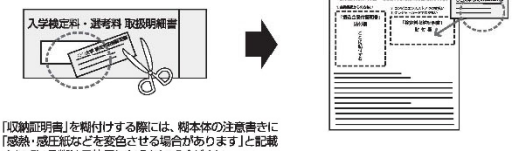
全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会(URL:https://e-shiharai.net/)　にアクセスして下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

3 出　願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

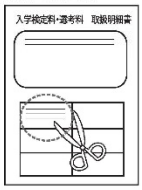
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙の所定欄に貼り出願。



<注意>
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

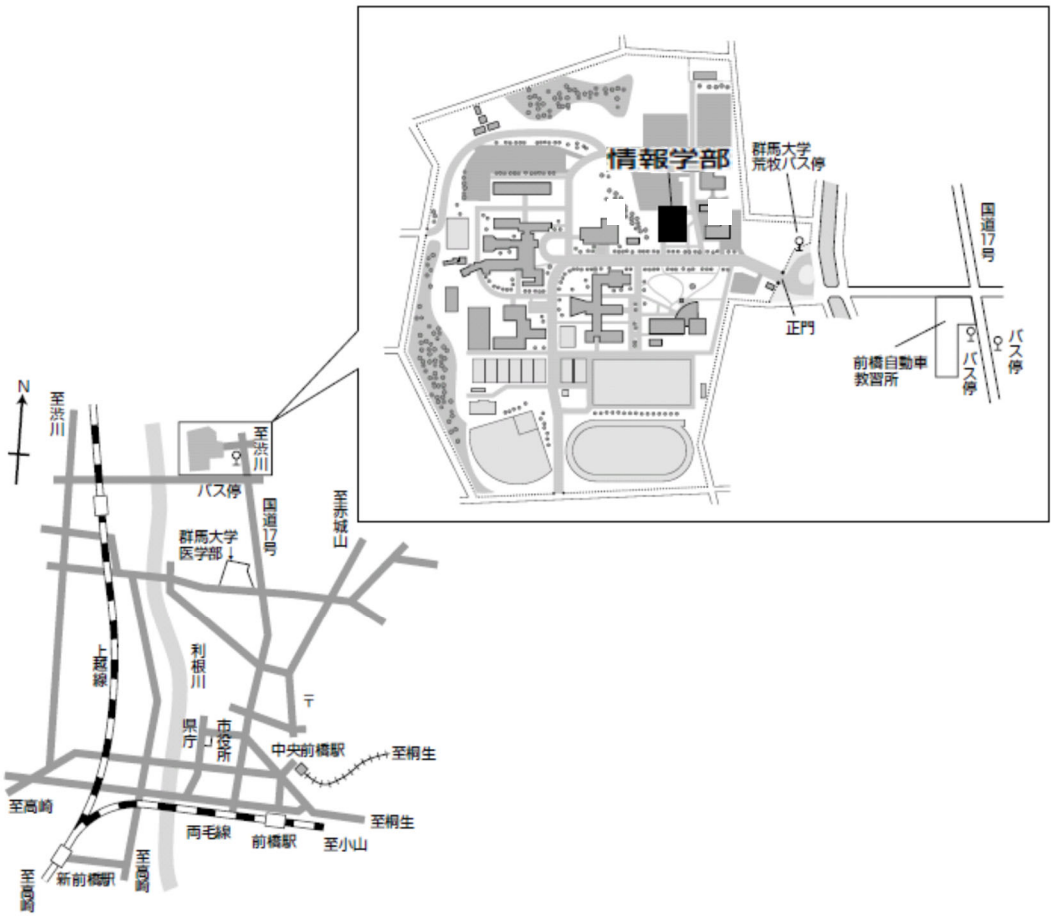
●携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
●出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
●支払い最終日の「Webサイトでの申込み」は１６:３０まで、店頭端末機の操作は１７:００までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。１７:００までにお手続きしてください。
●「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
●一度お支払いされた検定料は返金できません。
●検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
●「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。
●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

試験場までの交通案内

群馬大学情報学部
〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町4-2　電話：027-220-7412　情報学部教務係（情報学研究科担当）
ＪＲ前橋駅及び渋川駅からのバス運行は下表のとおりです。

乗車場所	バス行先案内表示	下車停留所	所要時間	備　　考
ＪＲ両毛線 前橋駅北口 2番のりば	群馬大学荒牧経由渋川駅行 群馬大学荒牧経由渋川市内循環渋川駅行 群馬大学荒牧経由小児医療センター行 群馬大学荒牧行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通バス
	渋川駅行 渋川市内循環渋川駅行 小児医療センター行	前橋自動車教習所前	約25分 徒歩10分	
ＪＲ上越線 渋川駅前	群馬大学荒牧経由前橋駅行 渋川市内循環群馬大学荒牧経由前橋駅行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通バス
	前橋駅行 渋川市内循環前橋駅行	前橋自動車教習所前	約25分 徒歩10分	

※　公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し，集合時刻までに到着できるよう十分に余裕をもって試験場へお越しください。



群馬大学大学院情報学研究科修士課程について

本研究科では，学部で身に付けた情報の管理，加工，処理，分析などに関するデジタルスキルと自然科学，人文科学，社会科学との基礎的理解に基づいて，情報科学及び社会情報学に関するより高度な理解を持つとともに，各専門分野が他の分野や社会全体とどのような関係にあるのかについても理解を深め，人間や社会の総合的理解と課題解決に資する高度なデジタル推進人材の育成を行います。

教育課程の概要

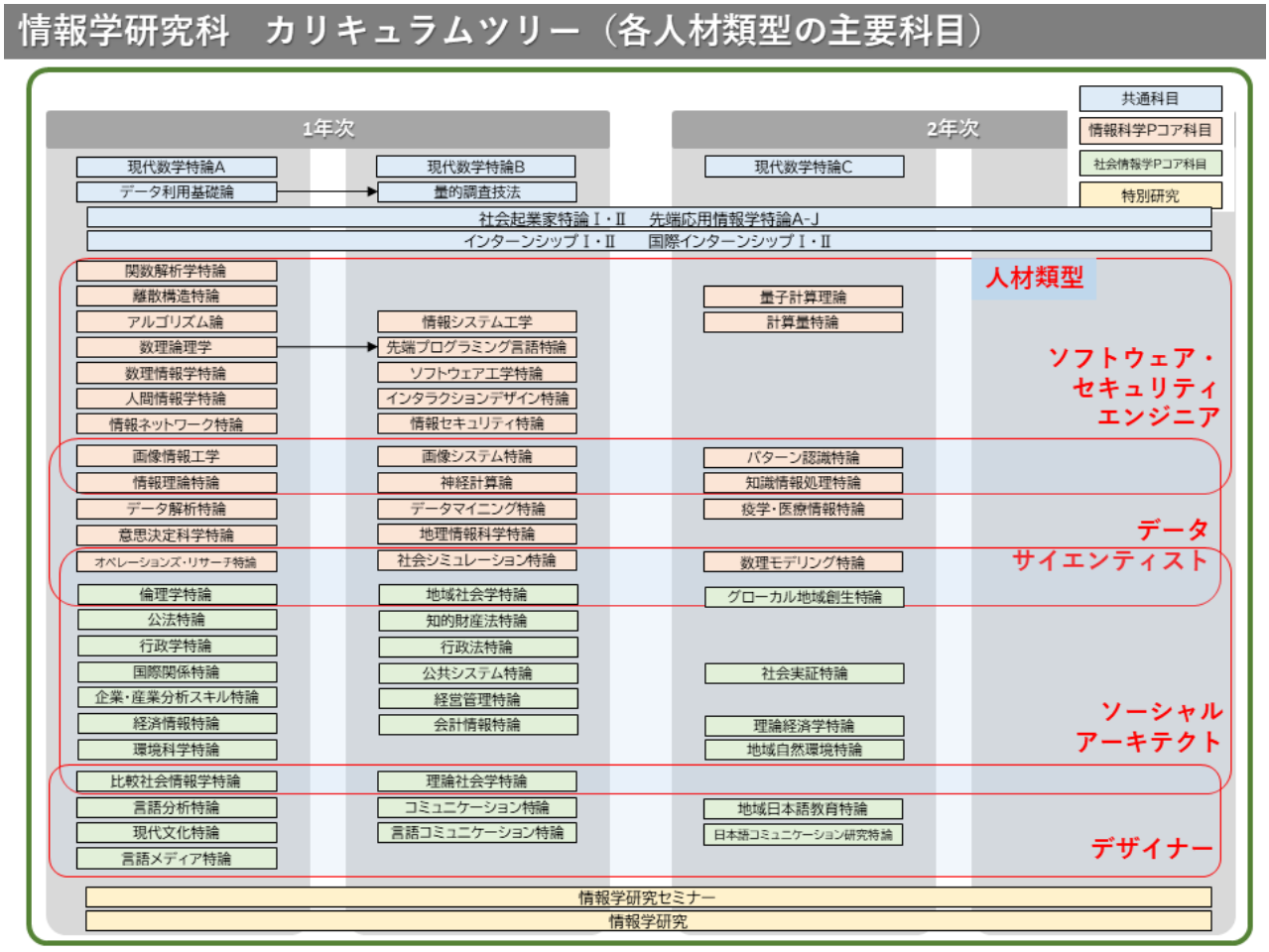
専門的な知識を培う各プログラムコア科目，先端的な研究活動を実践する情報学研究，地域の公共団体・企業との人材や知識の交流を促すためのインターンシップ科目や倫理観・コミュニケーション能力を養うとともに各専門と他分野との関係の理解を促す情報学研究セミナーを提供します。各プログラムでは育成する人材類型に対応した授業を提供します。

【情報科学プログラム】

情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて先端的な研究開発を担える，サイエンティフィックリサーチャー，ソフトウェア・セキュリティエンジニア，データサイエンティストを育成するため，各類型に要求される資質を以下のカリキュラムで涵養します。

【社会情報学プログラム】

ソーシャルアーキテクト，デザイナー，データサイエンティストの各人材類型に対応する人材を育成するため，各類型に要求される要素に対応する授業を提供します。



ディプロマポリシー

＜学位授与の条件，達成度・能力評価の基準＞

本研究科では，修了要件を満たした次のような者に修士（情報学）の学位を授与します。

1 所定の年限在籍し，修士課程に定められた単位を修得した者

2 必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査及び最終試験に合格した者

3 学術的能力，コミュニケーション能力，マネジメント能力及び国際性を身に付けた者

＜学修成果の目標＞

【情報科学プログラム】

1　情報科学・データサイエンスに関する高度な知識を獲得し，俯瞰的視点から問題点を把握し，社会の課題を解決する能力を身に付けている。

2　情報科学・データサイエンスに関する専門的内容を論理的かつわかりやすく説明できるコミュニケーション能力を身に付けている。

3　優れた倫理観を備え，積極的かつ計画的に目標の達成に貢献することができる。

4　情報科学・データサイエンス分野の国際的な動向に貢献する意識を身に付けている。

【社会情報学プログラム】

1　社会情報学に関する高度な知識を獲得し，俯瞰的視点から問題点を把握し，課題を解決する方策を提案する能力を身に付けている。

2　社会情報学に関する専門的内容を論理的かつわかりやすく説明できるコミュニケーション能力を身に付けている。

3　優れた倫理観を備え，積極的かつ計画的に目標の達成に貢献することができる。

4　社会情報学分野の国際的な動向に貢献する意識を身に付けている。

修了要件

1．大学院共通科目，研究科共通科目，情報科学コア科目，社会情報学コア科目及び特別研究から 30 単位以上を修得すること。

2．情報学研究 12 単位，情報学研究セミナー４単位を修得すること。

3．自身の所属するプログラムのコア科目から８単位以上修得すること。

4．大学院共通科目，研究科共通科目について，必修科目を除き併せて４単位まで修了要件の修得単位に含むことができる。

5．学位論文を提出し，審査及び最終試験に合格すること。

専門性を確保するため，各自が所属するプログラムのコア科目を重点的に履修することを要求している。また，他プログラムのコア科目を修了要件に充てられるので，専門だけではなく別分野の知見も修得して視野を広げることを可能にしてある。

授与する学位の種類

修士（情報学）

特別研究を担当する教員の研究内容等一覧

【重要】出願前に指導希望教員と必ず連絡を取ってください。

【注意】下表は研究領域別の教員の研究内容等です。学生の受入れに当たっては，両プログラムの相談に応じることが可能です。

【情報科学研究領域】

教　員　名	研　究　内　容
天野　一幸	計算量理論，アルゴリズム，機械学習
奥　　寛雅	ダイナミックイメージコントロール，高速画像処理，高速光学素子
奥貫　圭一	都市・地域解析論，地理情報科学
加藤　　毅	バイオインフォマティクス，機械学習，統計解析
柴田　博仁	ユーザインタフェースデザイン，認知科学
嶋田　　香	進化計算，知識発見とデータマイニング
地村　弘二	ヒトの認知神経科学，神経情報学，決定神経科学
鈴木　裕之	制御・システム工学，光工学，光量子科学
※関　　庸一	データマイニング，統計的学習理論，応用データ解析
照屋　　保	数理解析学
中野　眞一	グラフアルゴリズム，情報の可視化，離散最適化
青山　一真	情報学，人間情報学
荒木　　徹	グラフ理論，グラフアルゴリズム，組合せ最適化
安藤　崇央	ソフトウェア工学，形式手法，スマートモビリティ
石井　基裕	代数学，表現論
大下　達也	整数論
大塚　　岳	幾何学的運動方程式による界面の発展現象の解析
片山　佳代子	疫学，社会医学，健康行動科学
河西　憲一	待ち行列理論，通信トラヒック理論，情報通信システムの性能評価
齋藤　翔太	情報理論とその機械学習への応用
高木　　理	医療情報学，形式手法
千田　浩司	データプライバシー，暗号，情報セキュリティ
永野　清仁	最適化理論，機械学習，ネットワーク最適化
※藤田　憲悦	プログラミング言語，　プログラムの基礎理論，数理論理学

※印のある教員は，2025 年 3 月末に退任予定です。

【社会情報学研究領域】

教員名	専門分野	指導可能な研究テーマ
石川　真一	生態学 環境科学 植物生理学	・土木工事など人為による地域の生物環境改変実態の解明 ・地球温暖化対策としての植物のCO2吸収量の推定 ・地域の自然再生における絶滅危惧植物の保全
井門　　亮	言語学 語用論 関連性理論	・語彙概念の語用論的解釈に関する研究 ・関連性理論に基づいた修辞的表現の分析 ・発話解釈における談話標識の役割について
伊藤　賢一	理論社会学 情報社会論	・情報化の進展と社会変容に関する社会（学）理論の探求 ・社会学理論，社会学史の学説研究 ・青少年のインターネット利用におけるリスクとその対策
岩井　　淳	社会情報システム学 意思決定支援論	・匿名性保証に着目した意思決定支援システムの開発 ・社会的選択理論の情報学的展開 ・電子的なコミュニケーションとストレス対処
柿本　敏克	社会心理学 グループ・ダイナミックス	・仮想世界ゲームを用いた集団内・集団間ダイナミックスの解明 ・インターネット環境における人間関係 ・食におけるリスク情報が信頼性判断に及ぼす影響
河島　基弘	社会学 比較文化論 環境倫理	・人間と動物の関係についての歴史的・比較文化論的考察 ・メディアによる他文化表象の研究 ・新聞や放送などマスコミ業界の問題分析
小竹　裕人	公共政策論 政策分析	・計量分析による政策選択 ・地域課題解決のための次世代モビリティーの可能性 ・地理情報システムを使った政策情報分析
坂田　勝彦	地域社会学 福祉社会学 社会問題論	・戦後日本の開発主義と地域社会に関する生活史的研究 ・地域における福祉課題の調査・研究（特に障害福祉，高齢福祉） ・社会問題に関する質的研究法による調査・研究
杉山　　学	オペレーションズ・リサーチ 経営科学 経営情報学	・総合評価を行うための数理的意思決定支援手法（DEAやAHPなど） ・公共事業体や電力事業体などに対する経営効率分析 ・首都機能移転計画における候補地の総合評価
※高山 利弘	日本文学 言語文化	・説話や伝承における言語情報の伝達 ・軍記文学および歴史文学をめぐる諸問題 ・古典文学作品や日記・記録等に基づく古代社会の諸相の解読
西村　尚之	森林生態学	・森林生態系保全の基礎となる森林の成り立ちの解明 ・森林の長期的な変化と環境変動との関係の解析 ・森林生態系の種共存を解明する研究
西村　淑子	行政法 環境法	・行政事件訴訟の要件 ・公害・環境訴訟及びADR ・ハンセン病行政の歴史的検証
※※野田 岳人	国際関係論 ロシア・旧ソ連地域研究	・国際関係理論，国際レジーム論 ・ナショナリズム論，民族間関係の研究 ・ロシア，ウクライナなど旧ソ連諸国の研究

※印のある教員は，2025 年 3 月末に退任予定です。

※※印のある教員は，2026 年 3 月末に退任予定です。

教員名	専門分野	指導可能な研究テーマ
※※結城　恵	教育社会学 多文化共生 質的調査法	・グローカルな視点による地域創生の理論と方法の研究 ・多文化共生社会に貢献する人財の養成と活用方法に関する研究 ・質的方法，特に，エスノグラフィの理論と実践に関する研究
江良　亮	実証経済分析 開発経済学	・社会インフラと経済発展との関係 ・応用計量経済分析 ・情報化と産業構造の変化
大野　富彦	経営学 経営組織 サービス・マネジメント	・観光地経営組織とステークホルダーの関係性マネジメント ・地域企業の CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の展開 ・サービス産業（特に旅館・ホテル）の組織マネジメント
金　宰弘	会計学 環境管理会計 CSR マネジメント	・企業の財務・非財務データを用いた実証的研究 ・マネジメントシステムの設計と運用における会計情報の活用 ・環境・CSR マネジメントにおける会計手法の導入
坂本　和靖	計量経済学 労働経済学	・養育期における家庭環境と子どものその後の成長との関係 ・ワーク・ライフ・バランス施策の政策評価 ・回答拒否による推計バイアスの計測
高井　ゆと里	西洋哲学史 生命倫理学	・テクスト解釈の手法による西洋哲学史の研究 ・概念的論究を主とした生命倫理学領域の諸研究
鳶島　修治	計量社会学 社会階層論 教育社会学	・社会調査データの計量分析 ・社会階層と不平等に関する研究 ・教育達成過程の実証的研究
平田　知久	メディアの社会史 比較社会学 近現代思想	・メディア技術，情報，利用の展開と影響に関する歴史的/実証的研究 ・アジア諸国／諸都市のメディア利用に関する比較社会学的研究 ・メディアと思想／社会哲学の連関に関する研究
藤井　正希	憲法学	・個人の尊厳の概念，人権の歴史，憲法成立史などの憲法総論 ・平等権，自由権，社会権など憲法上の個別的な人権カタログの研究 ・立法，行政，司法，財政，地方自治などの憲法上の統治制度の研究
牧原　功	日本語学 言語学 日本語教育学	・日本語の統語論，語用論，意味論に関わる研究 ・日本語と他言語との対照研究 ・対照研究の知見に基づいた日本語習得に関わる研究
大和　啓子	日本語学 談話分析 日本語教育	・ポライトネスに関わる言語行動・表現研究 ・日本語を中心とした談話研究 ・非母語話者の日本語運用に関わる研究

※※印のある教員は，2026 年 3 月末に退任予定です。

授業科目の講義等の内容

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
研究科共通科目	データ利用基礎論	データを研究利用する際の基本的な注意点，特に，プライバシーの保護を始めとする倫理的な配慮に関する課題点や方法論について学修する。特に，医療情報システム上のデータを研究利用する場合をユースケースとして取り上げ，医療情報システム上のデータが如何にして蓄積されるのかを踏まえた上で，データの研究利用に際する法令，ガイドライン及びプライバシー保護に関わる技術について学修する。
	量的調査技法	社会調査（量的調査）を企画・設計する上で必要となる調査デザイン，サンプリング，調査票の作成等に関する内容について学修する。また，社会学をはじめとする人文社会科学分野の実証研究におけるデータアーカイブの活用方法を学ぶとともに，実際に社会調査データの二次分析を行いながら，統計解析ソフトを用いたデータ加工や基礎的な計量分析の方法を修得することを目指す。
	社会起業家特論Ⅰ	ソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）の意義や世界各国における発展の歴史や現状を学ぶとともに，それと密接に関わるＮＰＯの設立方法やマネジメントについて学生は理解を深める。（本講義は，野村證券株式会社高崎支店で行います。）
	社会起業家特論Ⅱ	事業理念や事業アイデアをビジネスプランに結実させるプロセスに習熟するとともに，実際に自らのビジネスプランを策定してプレゼンテーションを学生は行う。アクティブ・ラーニング形式で講義を行う。
	先端応用情報学特講A	群馬県内の主要な水害対策地（八ッ場ダム，渡良瀬遊水池，草木ダムなど）の現地で実施されている具体的な対策（工事，水位調節など）及びそれらによって引き起こされている環境問題の現状を，配付資料を用いた事前学修，現地視察・野外授業によって理解する。そのうえで，環境保全と防災の両立方法について，グループディスカッションによって立案を試行する。 開催地及び開催日程は受講生と相談の上決定する。
	先端応用情報学特講B	群馬県内の自然保護地域（高崎市榛名公園沼ノ原，沼田市玉原高原，藤岡市チノー・ビオトープフォレストなど）の現地で国連SDGsに基づいて実施されている地域保全対策を，配付資料を用いた事前学修，現地視察・野外授業によって理解する。そのうえで，今後SDGsの達成のために必須とされている「グローバル・ハ゜トナーシップ」の構築方法について，グループディスカッションによって立案を試行する。 開催地及び開催日程は受講生と相談の上決定する。
	先端応用情報学特講C	企業が行う環境保全活動は，COP10，SDGsなどの国際的動向を踏まえて「生物多様性の保全」を新たな柱として，企業活動のサプライチェーン・バリューチェーンにおける生物多様性保全への配慮が普通化しつつある。本講では群馬県内で企業がその敷地内で実施している「生物多様性の保全」活動の現地（藤岡市；チノー・ビオトープフォレスト，明和町；アドバンテスト・ビオトープなど）において，配付資料を用いた事前学修，現地視察・野外授業によって「生物多様性の保全」の現状を理解する。そのうえで，今後「生物多様性の保全」のために必須とされている「生物多様性民間参画パートナーシップ」及び「生物多様性民間参画グローバルプラットフォーム」について，グループディスカッションによって参画方法を立案する。
	先端応用情報学特講D	群馬県は「ダム県」であり，南関東を水害から護り同時に利水を行うため，多くの巨大ダムが建設された。その最後に完成した八ッ場ダムは，1999年に施行された改正河川法以前に建設計画が決定されたが，「時のアセス」の方針により，環境アセスメントを実施し，管理の目的に「環境保全」が盛り込まれている。本講では八ッ場ダムの現地で実施されている具体的な対策（工事，水位調節など）及びそれらによって引き起こされている環境問題の現状を，配付資料を用いた事前学修，現地視察・野外授業によって理解する。そのうえで，環境保全と防災の両立方法について，グループディスカッションによって立案を試行する。
	先端応用情報学特講E	「持続可能な開発目標（SDGｓ）」と「With & Postコロナ」の観点から持続可能な地域活性化のあり方を，特に，自治体の役割と機能に焦点を当てながら考える。開講は5月～7月の土曜集中開講とし，産学官関係者等との対話を通して理論的かつ実践的に考察する。
	先端応用情報学特講F	産業の地域における持続可能性を高めてグローバル展開している，グローカル企業や地域が提供する２週間のインターンシップに参加する。インターンシップを通して，群馬で暮らしながら世界規模の仕事を展開するということの方策とその意味を考察し，群馬のグローカル地域創生に貢献する人財として，自身のキャリア形成を具体的に考える。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
研究科共通科目	先端応用情報学特講G	「持続可能な開発目標（SDGｓ）」と「With & Postコロナ」の観点から持続可能な地域活性化のあり方を，特に，企業の役割と機能に焦点を当てながら考える。開講は5月～7月の土曜集中開講とし，産学官関係者等との対話を通して理論的かつ実践的に考察する。
	先端応用情報学特講H	産業の地域における持続可能性を高めてグローバル展開している，グローカル企業や地域が提供する２週間のインターンシップに参加する。インターンシップをとおして，SDGs，ESG投資，With&After新型コロナ対策など，群馬の産業の持続可能性を高める人財として，自身のキャリア形成を具体的に考える。
	先端応用情報学特講I	（日留合同講義）日本で展開する「就職活動」を文化的・社会的な事象と捉え，その過程で用いられる，就職活動に特有の日本語（「就職日本語」）を社会言語的な視点から分析することで，就職活動の構造と機能を考察する。
	先端応用情報学特講J	企業で実施するインターンシップで必要となるコミュニケーションに関連する情報を収集し，インターンシップで使用される特殊な用語，コミュニケーションの様式，その背景にある文化を理解できるようになる。その結果，文化の壁・言葉の壁を低くして，インターンシップを円滑に進めることができるようにする。
	現代数学特論A	フーリエ解析と関数解析は，今日では数学のみならず情報理論や物理学など数理科学の多くの分野で利用され重要な役割をはたしている。この講義ではフーリエ解析と関数解析の２つを学ぶことにより，直行多項式，ヒルベルト空間上の線形作用素，スペクトル分解などの基礎を系統的に理解する。
	現代数学特論B	群の表現論について学ぶ。群とはいくつかの基本的性質を満たす二項演算を備えた集合であるが，これは対称性を数学的に捉えた構造であると考えることができる。群の表現とは，群に内在する構造を，ものの対称性（特に，ベクトル空間上の線型変換）として実現する操作のことをいう。本講義では，指標の理論を中心に，複素数体上の有限群の表現論の基礎について解説する。
	現代数学特論C	楕円曲線は「群」の構造をもつ代数曲線であり，現代の整数論及び数論幾何学で盛んに研究されている，重要な研究対象である。また，楕円曲線は素数判定アルゴリズムや暗号などにも用いられており，情報学の分野でも重要な対象である。この授業では有理数体上の話題（Nagell-Lutzの定理，Mordell-Weilの定理等）と有限体上の話題（Hasseの定理，ねじれ有理点と還元写像等）を中心に楕円曲線の基礎について学ぶ。更に時間が許せば，暗号理論等への楕円曲線の応用や，BSD予想等の楕円曲線にまつわる未解決問題についても触れる。
	国際インターンシップⅠ	海外の技術者・研究者との英語による研究討論の能力を養うために，国際会議あるいはこれに準じる場所において，英語による研究発表，海外の研究者との討論・交流等を行い，英語でコミュニケーションする能力の実践的訓練を行う。訓練終了後成果報告書を作成させることで訓練の成果をより確かなものにする。
	国際インターンシップⅡ	海外の技術者・研究者との英語による研究討論の能力を養うために，約1ヶ月以上に渡って海外の研究機関やこれに準ずる場所において，英語による研究活動や発表，海外の研究者との討論・交流等を行い，先端的な学術領域の内容を英語でコミュニケーションする能力の実践的訓練を行う。訓練終了後成果報告書を作成させることで訓練の成果をより確かなものにする。
	インターンシップⅠ	修得した学問を，企業において実践的に活用する能力を培うために，企業におけるインターンシップを行う。事前のガイダンスの後，インターンシップを行い，発表会を開催しそこでの発表・討論を経験させる。
	インターンシップⅡ	修得した学問を，企業において実践的に活用する能力を培うために，事前教育を含めて３ヶ月程度の長期間の企業におけるインターンシップを行う。事前教育としては，企業におけるマナー，知的財産，安全管理について教育する。加えて，派遣先の企業及びそこでの職務に応じた周辺分野の教育も行う。派遣先企業の担当者と協議を基に経過報告書を作成することを義務づけ，最終的な報告書を提出させ，最後に発表会を開催しそこでの発表・討論を経験させる。
	情報学研究セミナー	情報科学と社会情報学にまたがる領域に関して，各研究分野の様々なトピックに関する発表と議論を行い，各自の研究テーマと社会の多様な問題や側面との理解を促し，幅広い視野を涵養する。また，研究活動の基礎に関する指導も実施し，研究・社会活動に必要な倫理観を涵養するとともに，学術的文章の執筆や発表方法に関するスキルも修得する。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
情報科学コア科目	離散構造特論	グラフ理論は情報科学の基礎となる数学である。この講義では，学部の離散数学1と離散数学2を基礎として，グラフ理論の基礎的な理論を講義する。特に，グラフ，有向グラフ，木，距離，連結度，マッチング，彩色などの概念や性質について講義する。
	アルゴリズム論	学部のアルゴリズム1及び2を基礎に，様々なアルゴリズムの設計と評価について解説する。キーワード：ＮＰ完全，前処理，ならし解析，計算幾何，近似アルゴリズム，平面グラフ，ストリーミングアルゴリズム，など。
	数理論理学	計算理論と記号論理学及びそれらの関係に関する話題を講義する。特に，学部の数理論理学，プログラミング言語及びソフトウェア工学を基礎にして，命題論理の意味論と構文論，ラムダ計算に基づく計算理論，およびプログラムの型と論理式とのカリー・ハワード同型対応について学ぶ。
	計算量特論	日常遭遇する様々な情報処理や計算の問題に対して，その本質的な困難さ，すなわち，その問題を解くのに必要とする時間やメモリ量を明らかにすることを目指す分野である，計算量理論について講義する。特に，種々の計算モデルと計算量クラス，P vs NP 問題，並列計算量などについて学ぶ。関連する最近の研究結果の解説も併せて行う。
	関数解析学特論	微分方程式や変分問題，数値解析を学ぶ上での基礎理論である関数解析学の講義を行う。バナッハ空間やヒルベルト空間における完備性やコンパクト性について学び，その応用として縮小写像の原理，射影定理およびRieszの表現定理とその変分的特徴付け及びこれらの応用について学ぶ。
	量子計算理論	現在のコンピュータにとって困難な問題を高速に解く量子コンピュータについて，理論計算機科学の立場から解説する。具体的には，量子コンピュータの標準的な数理モデルである量子回路を導入し，素因数分解アルゴリズムに代表される様々な高速量子アルゴリズムについて説明する。
	情報理論特論	レート歪み理論，情報理論と統計学，ユニバーサル情報源符号について講義する。レート歪み理論では，歪みを許容したもとでの圧縮率の理論限界を紹介する。情報理論と統計学では，タイプ理論，大偏差理論，仮説検定の誤り率解析などを学ぶ。ユニバーサル情報源符号では，LZ符号とその最適性などを解説する。
	数理情報学特論	グラフやネットワークは，対象物間の相互結合を表現する概念である。インターネット，人間関係，交通網などは，ネットワーク情報として数学的にとらえることができる。社会における様々な現象をネットワークとして科学的に扱う学問がネットワーク科学である。この授業では，ネットワーク科学についてその数学的基礎を学修するとともに，ネットワーク分析手法に関する演習を通じて理解を深める。
	ソフトウェア工学特論	形式手法，特に時相論理をもちいた形式検証技術の基礎理論について講義する。具体的には，オートマトン，計算木論理，命題線形時相論理，モデル検査などの基礎理論を解説する。
	情報ネットワーク特論	基本的なネットワークの利用及び仕組みを理解していることを前提に，現代の社会で欠くことのできない情報ネットワークについて，その最新の技術の紹介とサービスを中心に講義をする。IPv6や移動体通信（ユビキタス）などの新しいネットワークの仕組みと構築技術及びその上でなされる各種サービスについて解説する。また，ネットワークの管理・運用，最近のe-serviceとして，電子商取引やコミュニケーション手段としてのWebサービスについて説明する。
	情報セキュリティ特論	今後の普及が見込まれる先端セキュリティ技術についてプログラミングも交えながら学ぶ。特に暗号基礎理論・暗号アルゴリズム・暗号高速実装技術及び最新のプライバシー保護技術を主テーマとする。
	インタラクションデザイン特論	道具のデザイン，特にソフトウェアシステムのデザインの方法論を学ぶ。人間中心設計の考え方，人間の認知特性，支援対象の分析，初期システムのデザインと構築，ユーザビリティ評価などを学ぶ。最終的には，デザインの実践を演習として行う。
	人間情報学特論	バーチャルリアリティ(VR)やヒューマンコンピュータインタフェース・インタラクションという学際的領域について，学術的な基礎とその応用，さらには先端的な研究内容について講義する。
	画像情報工学	画像復元の数理的な基礎になっているフーリエ変換と，画像による３次元解析の基礎になっている射影幾何学を，それぞれの応用に密着した形で具体的に講義する。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
情報科学コア科目	画像システム特論	画像システムを構成する二つの要素である撮像用光学系と画像処理系について基礎を講述するとともに，コンピュテーショナルフォトグラフィに代表される，光学系の性質を積極的に利用する画像システムについて概説する。
	パターン認識特論	多くのパターン認識のアルゴリズムは関数の最適化に基づいている。本講義では，最適化技術の一つである凸解析を中心に，機械学習に必要な数学の基礎を解説する。
	情報システム工学	確率統計1・2及び情報ネットワークで修得した内容を発展させるため，確率過程とその応用について学ぶ。工学上の問題を確率過程でモデル化する手法を理解するため，計算機システムの性能評価法や確率的アルゴリズムなど，確率過程の応用を学ぶ。
	データ解析特論	多変量のデータ解析の方法論に関し概観し，さらに，重回帰分析，判別分析，主成分分析の基礎的なデータ解析方法について，その原理を応用例に触れながら述べる。多変量データの基本的な取り扱い方と，探索型と検証型の主なデータ分析手法について基礎的な考え方を理解し，これらを利用できるようにすることを目標とする。
	データマイニング特論	データ科学と知能情報学の融合分野としてのデータマイニングについて，その代表的な手法，応用事例，大規模データへの応用について学ぶ。データマイニングとは何か，知っておくべきことは何かについての基礎とともに，統計的学習手法，機械学習との関係を踏まえてデータマイニングの代表的手法を学ぶ。また，社会健康医学やソーシャルネットワークなどの多様な分野への応用例，大規模データからのマイニングと知識発見などの技術動向，最近のトピックを解説する。
	疫学・医療統計特論	現在，我が国ではゲノム解析，バイオインフォマティクスが進むにつれデータサイエンスの力量を兼ね備えた疫学者，生物統計家や医療関係職の人材がますます重要となっている。そこで情報学の知識を持ち医学系で活躍したい人材のために疫学の体系的理解と技能の修得，そして地域の医療計画に必要な様々な解析モデル・スキルの修得を通じて実社会でどのように実装していくのか等の学修を行う。特にビックデータの１つであるがん登録データの利活用を通じてがん対策，科学的エビデンスに基づくがん情報の効果的な発信の在り方までを扱う。
	神経計算論	神経科学に数理・計算理論を導入することによって，どのような脳機構が解明されてきているのかを解説する。機械学習，ニューラルネットワークモデル，状態空間モデル，ドリフト拡散モデルなどを例にして，神経と行動を関連づける数理的枠組みを理解し，脳における計算原理がどのように探索されているかを知る。
	知識情報処理特論	多くの機械学習のアルゴリズムは関数の最適化に基づいている。本講義では，最適化理論の一つである双対理論を中心に，機械学習に必要な数学の基礎を解説する。
	地理情報科学特論	現代社会が抱える諸問題の多くは地理的事象であり，地理的な情報を適切に扱うことによって問題の解決に結びつくこともある。この授業では，地理的な情報にまつわる理論や応用について学び，地理的な情報を介して諸問題を考える力を身に付けることを目的とする。受講者それぞれが地理的事象を対象とする問題を取り上げて研究を進め，その過程を報告する中でディスカッションを重ね，地理的事象を考える力を養う。
	意思決定科学特論	意思決定科学に関する近年の研究成果について学ぶ。また，情報通信技術（ICT）を用いた意思決定支援について学ぶ。現実の意思決定過程についての深い洞察力を身に付けるとともに，ICTを用いたその改善法を検討する講義である。研究成果としては，選好にもとづく意思決定過程としての個人的意思決定と集合的意思決定に関する理論と方法を検討する。数理的・実験的・情報処理的なアプローチによる研究成果を包括的に議論する。
	オペレーションズ・リサーチ特論	社会の情報化が進むにつれ，ますます多種多様な情報があふれている。適正な意思決定を下すためにも，また，意思決定の根拠を他の人達に理解してもらうためにも，あふれる情報の中から，重要な情報を導き出し，決定を支援するための科学的なアプローチは必要であり，かつ，重要である。本講義では，科学的な問題解決の考え方や道具としてのオペレーションズ・リサーチや経営科学におけるモデルを用いた考え方や方法をより深く修得することを目的とする。そのために，数理モデルによる問題の定式化，モデルの最適化，得られた解決案の実施と改善の過程について詳しく論ずる。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
社会情報学コア科目	比較社会情報学特論	これまで，情報技術の展開に沿うかたちで，情報（化）社会に関する多様な言説や理論が生み出され，ほどなくそれらが消えていくという経緯が繰り返されてきた。この講義では，これまでに提示された情報（化）社会に関する言説や理論を概観しながら，その問題点を検討する。その上で，現実の情報メディア技術の利用とその技術・社会環境に着目し，各国／各社会／各地域におけるメディア利用の固有性を担保しながら現代の情報社会の分析を行うための理論的視座として，比較社会情報学というアイデアを提示し，その確立に向けた基礎となる文献を読解する。 他方で，情報技術と社会の現在を捉える理論の確立を目指すこの講義は，まずもっては受講生の情報メディア技術の利用にその応用可能性が求められてしかるべきである。このような意味で，受講生には講義内の文献の読解やディスカッションへの積極的な参加が求められる。
	理論社会学特論	この授業は，現代の社会学理論を踏まえながら情報社会の諸問題を読み解いていくことを目的とする。近代社会の自己認識として生まれた社会学理論は社会に共有される規範的構造と現実の重なりやズレを読み解いてきたが，こうした社会学的な考え方に親しみ，各自の研究に活かすことができるようになることも同時に目指すものである。授業は教員による一方的な講義ではなく，受講生も社会学理論の読解やディスカッションに積極的に参加することが期待される。社会学理論に関するテキストを用いる予定であるが，テキストの選出にあたっては受講生の意見も参照する。
	コミュニケーション特論	人にとってのコミュニケーション活動は様々な観点から捉えることができる。これはちょうど人の在り方に対する認識自体が多面的・多層的であり得るのと同じであり，それはコミュニケーション活動が人の存在にとって根元的意味を持つからだと考えられる。本講義ではこうした人のコミュニケーション活動を，主として社会心理学的な観点から検討していく。まずコミュニケーションに関するいくつかのモデルを示した後，集団間関係研究及び文化心理学研究の２領域を中心に，できるだけ具体的な問題を取り上げつつ，あわせて理論的問題についても検討を加える。受講者の積極的な取り組みが望まれる。
	言語メディア特論	古代の日本にあっては，社会の様々な情報は，口頭での伝承，あるいは真名字（漢字），片仮名・平仮名など，様々な立場を反映した文字表記を用いた文献として後世に伝えられてきた。 この講義では，おもに文学作品や貴族日記・記録などの古典的文献の解読を通して，その背景にある歴史や伝承などの様々な「情報」を抽出する。文字表記の問題，社会的背景や地域的問題などを視野に入れた文化論的な視点から検討を加え，古代社会の諸相について考察する。
	言語コミュニケーション特論	言語を媒介としたコミュニケーションについて，語用論を中心に言語学の観点から検討し，発話が解釈される過程と，その過程を支配している原理について考える。まず文献の輪読を通して，含意，会話の公理，協調の原理，発話行為，ポライトネスといった語用論の基礎概念を確認した上で，人間の発話解釈能力の解明を目指したモデルである関連性理論について学ぶ。そして具体的な言語表現の語用論的な分析を通して，ことばの意味，発話によって伝達された明示的・非明示的意味の解釈，ことばの意味と伝達内容のギャップ，人間のコミュニケーション能力などについて考察する。
	言語分析特論	言語を分析し研究を行うにあたって必要となる，言語学の基礎的な知識を身に付けることを目的とする。分析対象とする言語は日本語とし，特に統語論，意味論，語用論の側面からアプローチを行う。言語の様々な側面について，具体的な例をもとに検討し，言語がどのように構成され運用されているのかを検討する。
	日本語コミュニケーション研究特論	本講義では，日本語学習者の誤用あるいは不自然に感じられる日本語使用を手掛かりに，日本語コミュニケーションの特徴を主に語用論的な観点から明らかにすることを目的とする。まずは，文献講読を通じて語用論についての必要な基礎知識を得たうえで，実際に日本語学習者の日本語使用を観察，日本語学習者の日本語運用上の困難点とその要因について分析，考察し，日本語コミュニケーションの特徴を捉えていく。
	地域日本語教育特論	本講義は，日本語教育の現場の視察を通して，教育の方法や指導上の困難点に気づき，自らの実践や研究を進展させることを目的とする。国内有数の外国人集住地域である群馬県の特性，日本語指導が必要な児童生徒の増加を念頭に，地域の現状を把握し，日本語指導者にどのような対応が求められているかを検討しつつ，求められる専門的な知識や技能を学ぶ。集中授業として実施し，大学での講義と，日本語教育の現場の観察を交えて進め，5回の講義を予定している。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
社会情報学コア科目	現代文化特論	社会学や人類学，メディア論の知見を援用して，現代文化の様々な問題を考察する。テーマとしては「ソフト・パワー」「文化帝国主義」「グローバリゼーション」「（メディア）ナショナリズム」などが考えられる。たとえば，強制や誘導ではなく文化的魅力によって，こちらが望むことを相手に自発的にさせる力である「ソフト・パワー」を取り上げる場合，日本のマンガやアニメ，映画が世界でどのように受容され，それが日本のイメージや経済的利益の向上にどのように役立っているのかを見る。受講者の発表を基にした議論に重きを置きたい。
	倫理学特論	「生殖＝再生産」（reproduction）は，極めて個人的実践と見なされると同時に，最も公的・政治的な実践である。本授業では，生殖＝再生産という実践を，生命倫理学，フェミニスト倫理学の視角から多面的に検討することを目指す。具体的には，「性と生殖に関わる健康と権利」という概念が普及するに至った歴史や，女性の生殖の自律を求める日本と世界の運動史を授業の前半では取り扱う。他方で授業の後半では，障害のある人々やクィアの人々など，社会のマイノリティたちが被ってきた政策的な不妊化について，同じく日本と世界の状況を検討する。授業形態としては，講義を中心としつつ，受講生の関心に合わせてディスカッションを行う。
	地域社会学特論	本授業では，地域社会学にかかわる基礎知識を学ぶとともに，それらをもとに具体的な地域社会の課題について分析する力を身に付けることを目的とする。具体的には，「戦後日本の開発主義」をテーマに，それが農山村や島嶼部など各地でいかなるものとして経験されてきたかについて検討する。そして，現代の日本の地域社会をめぐる諸課題について，経験的・実証的に考えていく作業を行う。
	公法特論	公法とは，主として国家と国民との関係を規律した法のことであり，最も狭い意味では憲法と行政法とを指す。本講義では，国家の根本法であり最高法規でもある憲法の理解を第一の目標とする。その際には，学部レベルの憲法の基礎知識を再確認するとともに，情報学研究科の講義であることから，特に“マスメディアと憲法”について深く考察していく。教科書としては『マスメディア規制の憲法理論―「市民のためのマスメディア」の実現』（敬文堂）を使用する。また，生きた法とも言える判例（とりわけ最高裁判例）も十分に活用していきたい。大学院の講義は単なる知識の伝達であってはならず，新しいものを生み出す創造力の涵養の場でなければならない。一生の財産とできる創造力の修得が本講義の最終目標である。
	知的財産法特論	知的財産法の正当化根拠を踏まえつつ，各知的財産法（不正競争防止法，商標法，特許法，意匠法，著作権法）の概要を確認する。特にデザイン保護にかかわる分野に重点を置き，昨今議論が盛んになっているフィジカルとデジタルを交錯するデザイン保護のあり方等も取り上げる予定である。
	行政学特論	行政学の研究史を踏まえつつ，この分野におけるいくつかの有力な研究文献を集中的にとりあげる。講義は研究文献が(a)行政学の理論・モデル・方法をどのように扱っているか，(b)事実・データ（実証）と理論の関係をどのように捉えているかについて精査することを目的とし，更に(c)研究により得られた知見は（政府の）実務にどのように適用され得るかについて検討したい。講義でとりあげる研究文献は電子シラバスにおいて指示する。
	行政法特論	行政法に関する基礎的知識を確認するとともに，行政法総論と行政救済法の分野について理解を深める。行政法の総論では，法律による行政の原理，行政裁量，行政行為，行政立法，行政手続，情報公開・個人情報保護について，行政救済法では，行政事件訴訟，国家賠償，行政不服審査についてとりあげる。本授業では，行政法に関する個別のテーマについて，受講生が，調査・研究し，発表した内容を踏まえて，議論する。
	グローカル地域創生特論	少子高齢化による社会構造の変化のなかで，「地域」はどうあるべきかを理論的・方法的に学び，持続可能な地域のあり方への方向性を示し，実践できる人財が求められている。本講義では，人口減少現象の比較社会学的探究と，その現象に地域活性化の視点から対応する実践を創出する方策を，アクションリサーチを通して模索する。アクションリサーチで具体的な「地域」で実践活動を行う予定で，講義時に日程調整を行う。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
社会情報学コア科目	国際関係特論	本講義では，まず国際関係論の理論やアプローチ（接近法）など基礎的な知識を概説し，国際政治の見方を提示する。次に，テキストを購読しながら国際平和観と安全保障観の変遷と転換について考察する。これまでの国際社会は，平和が必ずしも人々の安全を保障するものではなかった。本講義を通じ，国際平和と人間の安全の両立を目指す平和創造の方法について検討する。国際関係論の基礎的知識が身に付いてきたら，講義の冒頭，時事的な国際問題を取り上げ，報告会を行うことも予定している。
	公共システム特論	政策を対象分野として，まずリサーチクエスチョンの立て方から分析手法まで基礎的な部分を扱う。次に，座学だけではなく収集した自治体データを用いて自治体が行っている個別政策の有効性（たとえば子育て政策）を比較するために定量的に分析する手法を示す。分析対象は政策であるが，分析手法は政策研究に限らず汎用がきくものである。さらに，政策の現実面を知ってもらうために最近の政策研究の各論について扱う。昨年は政策とナッジの関係について，ナッジで政府が国民に介入するべきなのかについて扱っている。
	企業・産業分析スキル特論	「金融ビジネスの基礎から実際まで」のサブテーマのもと，市民向け大学院「サテライト高崎」で開講される科目である。株式，債権，投資信託等の金融商品，不動産，国際商品（貴金属・農産物・工業製品等），各種保険，公的年金に至るまで，投資・貯蓄ポートフォリオを自ら構築・運用するために必要となる様々な投資・貯蓄対象の仕組み，税制，価格形成メカニズムについて学ぶとともに，それらを用いて自らの資産運用（節税・相続税対策を含む）や他人の運用アドバイスができるだけの分析スキルや意思決定能力を養成する。（本講義は，群馬大学10号館及び野村證券株式会社高崎支店で行います。）
	経営管理特論	本講義は，企業が価値を創造し成長するとはどういうことかといった，経営の根幹といえるテーマについて，２つの部分に分けて検討していく。前半は，テキストを用いて経営理論を修得し価値創造の在り方を理解する。後半は，観光地経営の価値創造に焦点をあて，それをサービスの観点からアプローチする。サービスには，無形性，生産と消費の同時性等の特徴があり，それらを踏まえた戦略構築やマネジメントが必要となる。講義全体を通じて，ケース・スタディやディスカッションを取り入れて理解を深めていく。
	社会実証特論	実証分析を行うための調査設計及びそのための基本的な統計技法を講義・演習する。具体的には，回帰分析及びそれに関連した諸問題（不均一分散，多重共線性，内生性など）への対処法や，ロジット・プロビットモデルなどを用いた質的変数モデルの分析，並びに時系列分析について，演習を交えながら，学修する。
	経済情報特論	経済現象を客観的・数量的に分析するためには，公的統計（官庁統計），金融統計，企業財務データをはじめとする様々な経済情報を利用することが不可欠である。また，必要なデータが存在しない場合には，統計調査を設計・実施してデータ収集することが必要になる。実際に多くの公的機関，金融機関，シンクタンク等では，データの収集や分析を行っている。 統計情報を適切に利用するためには，データの作成方法と分析方法に関する理解が重要である。講義では，統計調査法の理論，統計調査のデザイン，国民経済計算，人口統計，世帯統計，労働力統計，物価統計など重要な公的統計を活用した経済構造データ分析，世界開発報告などの国際経済情報を経済分析に活用する方法など重要なトピックの中から，いくつかのテーマを選んで講義する。
	会計情報特論	本講義の対象である「会計情報」は，企業の状態や業績などを数字で見える化したものである。会計情報は投資家などの特定の人々にのみ役立つのではない。すべての人々は大なり小なり，企業の経済活動と関係を持っているから，会計情報は誰にとっても役立ちを有している。そこで，本講義は，会計情報の利用者アプローチを取り入れて，財務会計と管理会計の2分野を中心に，会計学の基礎的な理論と会計情報の効用などについて考察することを目的とする。講義では，多様な事例を用いて，会計情報の内容（財務諸表の内容），会計手法の仕組みなどを理解し，会計情報及び会計手法の活用における諸問題を理論的に検討していく。

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
社会情報学コア科目	理論経済学特論	経済学の理論についてミクロ経済学とマクロ経済学の基礎をまず確認し、その後、高度情報化社会を分析するための諸理論を解説する。具体的には、情報化と経済成長、携帯電話・放送などの無線周波数利用型産業の規制が何故あるか、そしてGAFAなどのプラットフォーム独占がどのような特徴をもつのか、について解説していく。
	環境科学特論	「環境の世紀」と呼ばれる21世紀において，経済活動，企業経営，産業振興などの諸人間活動は，地球環境・地域環境と調和しつつ持続的な展開を目指すことになる。本講ではこのため基礎となる，環境の概念と生態系の成り立ち，調査計測方法，評価方法について概説し，簡単なフィールドワークを行うことにより，環境の科学的な捉え方を学ぶ。また，CO2環境と地球環境変化，外来種・絶滅危惧種と生物多様性，生態系の構造と機能といった重要な社会・環境情報に関して，その情報収集・解析方法を学ぶ。これらによって，今後の人間活動と地球環境・地域環境の持続的な調和方法を科学的に考察する力を身に付ける。
	地域自然環境特論	地域自然環境の大部分は，人間の活動と密接に関係している。また，地域文化や地域景観の形成においては自然環境が重要な要素の一つとなっている。そこで，本講義では，経済活動，企業経営，産業振興などの諸人間活動において，地域自然環境を保全しつつ持続的な発展を目指すための諸施策・政策と今後の方向性，及びその基盤となる生物・環境資源の現状，生態系サービスと生物多様性の保全，長期生態系モニタリングなどについて論究する。 なお，本講義は，野外見学や実地演習を中心に行う。
特別研究	情報学研究	情報科学，社会情報学の分野において，指導教員の専門に基づいて学生が研究課題を選択し，情報科学関連分野においては理論研究・実験・システム作成など，社会情報学関連分野においては方法論の確立・フィールドワーク・各種調査設計などについて研究を行い，修士論文の作成指導を受ける。

（様式１）

写真票（推薦入試）

2025年4月入学 群馬大学大学院情報学研究科修士課程

※印欄は、記入しないでください。

Do not write in any areas marked with ※

受験番号 Examinee's Number	※

志望するプログラム	
フリガナ	
氏名（漢字） Name	

【写真貼付欄】
Attach face photo taken within the last 3 months.(Facing to the camera with no hat)

上半身、無帽、正面
3ヶ月以内に撮影したもの
（4×3cm） size

写真の裏に氏名を記入して貼り付けてください。

（様式2）

推　　薦　　書

群馬大学大学院情報学研究科（修士課程）入学志願者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を
貴研究科の実施される推薦入試の条項に該当する者と認め、下記により推薦します。

年　　月　　日

群馬大学大学院情報学研究長　殿

推　薦　者（ 大学・学部、高等専門学校等名 ）
（　　職　　名　　）
（　　氏　　名　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

◎　入学志願者に対する所見及び能力、性格等について記入してください。

（様式3）

2025年4月入学　群馬大学大学院情報学研究科修士課程推薦入試
検定料収納証明書貼付台紙
Certificate of Examination Fee Transfer

志望プログラム （〇で囲む）	情報科学プログラム　・　社会情報学プログラム
受験番号 ※	
氏　名	

※印欄は、記入しないでください。

◆金額確認　　**検定料　30,000円**

以下のいずれかの方法により支払い、「検定料収納証明書」を貼付欄に貼り付けてください。
支払方法の詳細は、「４．出願手続き（３）入学検定料支払の方法」（３頁）及び
「群馬大学大学院検定料払込方法」（10頁）を必ず確認してください。

１．コンビニエンスストアでの支払い
２．クレジットカードでの支払い

◆検定料免除確認

下記に該当する場合は，□に ✔ をつけてください。検定料が不要です。

☐ 東日本大震災及び風水害等の災害罹災者（検定料免除申請者）である者

『検定料収納証明書』
貼付欄
Paste the Certificate of Payment here.

◆次のいずれかの方法により支払ってください。

1. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境でご利用ください。）

(1) 「群馬大学大学院検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
(2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。
(3)支払期間　2024年5月16日（木）8時30分から2024年5月30日（木）17時まで。

2. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境でご利用ください。）

(1) 「群馬大学大学院検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
(2) 支払後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、本台紙の所定の欄に貼り付けてください。
(3)支払期間　2024年5月16日（木）8時30分から2024年5月30日（木）17時まで。

出願時に、この貼付台紙を必ず提出してください。

（様式4）

志望理由書
Reason for Application

2025年4月入学 群馬大学大学院情報学研究科修士課程推薦入試

受験番号 Candidate No.	※	志望するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ Education Program		氏名 Name	
		希望指導教員 Major Advisor			

志望理由
Reason for Application

※ 1,000字以内。英語の場合250語以内。
※ パソコンで作成した記載事項を様式枠内に切り貼り可ですが、必ず本人の自筆による署名が必要です。
Although it is acceptable to draw up this document on a PC,insert an authentic signature in the“Name”box.

※印欄は、記入しないでください。